

OECD東南アジア地域プログラム

2015年1月22日
OECD代表部

【経緯】

2007年閣僚理

OECDは世界の成長エンジンである東南アジアを関係強化の戦略的優先地域に指定

2013年閣僚理

東南アジア各国とOECDの関係強化のため、「OECD東南アジア地域プログラム」設置に合意

2014年閣僚理 (日本議長国)

安倍総理が東南アジア各国の閣僚とともに公式に立上げを宣言

【趣旨】

(1) 2015年に予定しているASEAN経済統合と東南アジア各国の国内改革を支援を通じ、同地域の域内格差や「中所得国の罠」の克服、安定的で開かれた経済成長の実現を目指す。

(注) 具体的な支援分野として、投資、規制改革、教育・スキル、租税、SME、PPP、貿易、イノベーション、ジェンダー、マクロ経済分析が掲げられている。

(2) 東南アジアがOECDのスタンダードや知見を活用し、更に発展することは、同地域と強い経済連携関係にある我が国にとっても大きな利益になる。

(3) OECDとしては将来的な東南アジアからの加盟申請も念頭。



【日本の取組】

(1) 東南アジアとOECDの架け橋となるべく、同プログラムを推進

2013年日ASEAN関係40周年記念特別首脳会合の成果文書において、「架け橋」としての日本の役割(bridging role)への期待が表明

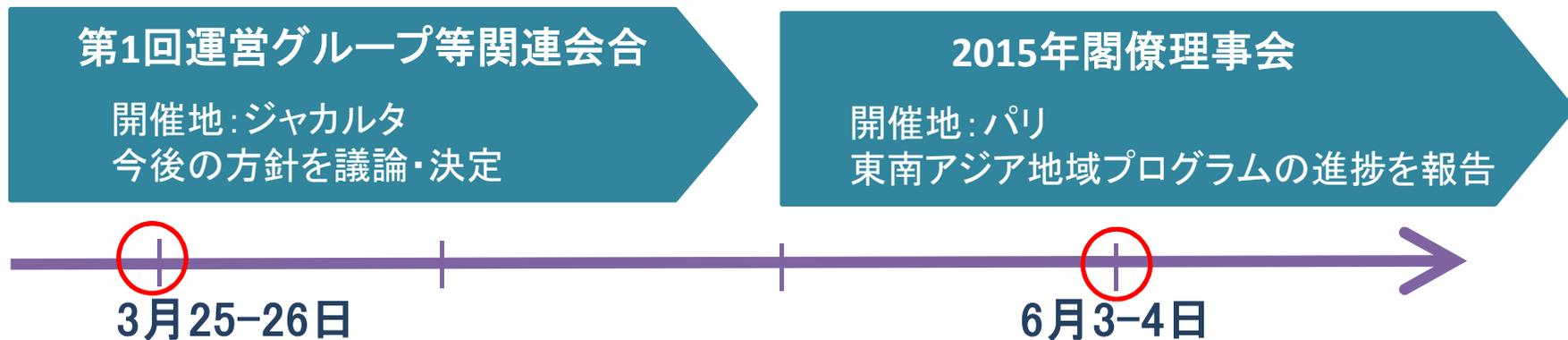
兒玉OECD代表部大使が、運営グループの初代共同議長に就任

(注) 東南アジア側の議長はインドネシア

(2) 議長国として加盟国間の議論をリード

対象分野である投資、SME、マクロ経済分析などのサブスタンスに貢献

【今後の予定】



3月25日 東南アジア地域フォーラム

3月26日 第1回OECD東南アジア地域プログラム運営グループ会合

その他、ビジネス関係者による意見交換、ジェンダーについてのセミナー等